

一般研究発表1日目 5月16日(土)10時~12時 3号館5階

	第1会場533	第2会場534	第3会場535	第4会場536	第5会場537
10:00-10:40	ハイデガーの思索における対話相手	『プロレゴメナ』におけるカントの観念論批判 —「第四誤謬推理」論からの一貫性に注目して—	最初期ホルクハイマーの思想形成 —コルネリウス、レーニンをはじめとする思想家たちとの交差	ベルクソンにおける宗教性について	トマス・アクィナスにおける時間の実在性について
	中橋誠	栗原拓也	青柳雅文	大沢啓徳	芝元航平
10:40-11:20	「確実性」を巡る対決 —前期ハイデガーのデカルト批判—	シェリングのポテンツ論について ポテンツは各段階で下がり得るか	三木清の回心	ミシェル・セールの感覚論と科学認識論 - 「混合体corps mêlés」概念を中心として	トマス・アクィナスにおける《individuation》について
	黒岡佳柁	福元隆文	玉田龍太郎	縣由衣子	石田隆太
11:20-12:00	理解から哲学へ —ガダマー解釈学と相対主義の関係をめぐって—	マクダウエル「第二の自然」について	他者と物語 —物語論と他我問題	アンスコムの実践的知識論 —「それが理解するものの原因となるもの」	形而上学とその与件- ホワイトヘッド形而上学の与件の二重性について
	古澤典也	川瀬和也	三ツ野陽介	鴻浩介	飯盛元章

一般研究発表2日目 5月17日(日)13時30分~15時30分 3号館5階

	第1会場533	第2会場534	第3会場535	第4会場536	第5会場537
13:30-14:10	「精神の修練Les Exercices Spirituels」再考：ピエール・アド、教育、そして身体	Die Lebensphilosophie in Goethes „Naturdichtung“ - der Einfluss Spinozas	ヤスパースにおける現象概念と共同性の問題	バークリにおける原因について 『運動論』を軸にして	「ヘラクレイトスの徒たち」に関する一考察
	林洋輔	ツグラッゲン エヴェリン	山下真	竹中真也	阪田祥章
14:10-14:50	盲者におけるエクリチュールの問題	スピノザ『エチカ』における様態概念の定位 産出の因果性に関する研究として	侮辱はいかにして責任と結びつくか	ヒュームは反ヒューム主義者だった	ファーラービーにおける自然哲学 - ウィゲル哲学におけるギリシア哲学の受容
	加賀谷昭子	藤野幸彦	中村信隆	吉岡 悠平	ムフタルアブドゥラフマン
14:50-15:30	人間なき人間学—メルロ＝ポンティとドゥルーズ	ライブニッツ『モノドロジー』の現実世界：偶然的真理と主体の選択	規範性と自発性—カント『道徳形而上学への基礎づけ』第三章証明構造	目的意味論と進化心理学	
	小林徹	阿部倫子	山蔦真之	宮園健吾	

公募ワークショップ 5月17日(日)13時~15時30分 3号館 4階421

13:00-15:30	「近代日本における女性哲学史を作る」 オーガナイザー：上原麻有子 提題者：上原麻有子、河野哲也、Christine Lévy、Heisook Kim
-------------	--